

インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 報告数3241件(前月比0.7、前年比0.6)と減少しています。人吉(定点あたり75.4)、宇城(同72.3)、菊池(同71.9)、八代(同65.1)が多いようです。
※()書きは1ヶ月の報告数を定点数で割った値。以下同じ。

小児科定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が48医療機関から50医療機関に増えました。

(全体傾向)

報告総数7323件(前月比0.8、前年比0.7)でした。減少の主な理由は、インフルエンザおよび感染性胃腸炎の減少です。

(疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 報告は69件で、人吉(定点あたり4.0)にやや多く発生していますが、ほぼ全県下から報告があります。
2. 咽頭結膜熱: 報告は76件で、11月に急増しましたが、今年に入り減少傾向にあります。菊池(定点あたり4.8)にやや多い傾向があります。1歳をピークとする幅広い年齢分布です。
3. A群溶レン菌咽頭炎: 報告数358件(前月比0.9、前年比1.1)と、冬場に高水準でしたが、今月は例年並に落ち着いたようです。菊池(定点あたり21.0)と天草(同18.3)の二地点が多いようです。他は定点あたりの報告は一桁です。5歳をピークとして幅広く発生しています。
4. 感染性胃腸炎: 報告数2732件(前月比0.9、前年比1.1)と例年同様の推移と報告数です。年齢では1歳にピークがありますが、0歳から14歳まで3桁の報告数です。また全県下から2桁の報告があり、菊池(定点あたり119.8)を筆頭に山鹿(同94.0)、有明(同82.8)と続いています。
5. 水痘: 報告数440件(前月比1.1、前年比1.1)と、ほぼ例年と同様に推移しています。水俣(定点あたり20.5)を筆頭に、人吉(同14.7)、八代(同13.0)、菊池(同10.2)、熊本(同10.1)、は二桁の報告です。阿蘇を除いて全県から報告があります。予防可能である事を周知させる必要があります。
6. 手足口病: 報告数40件(前月比0.6、前年比10.0)と、例年に比べれば10倍ですが、有明の22件(定点あたり4.4)が報告の半数を占めています。他地区は、少数の報告です。
7. 伝染性紅斑: 報告数6件(前月比0.5、前年比0.2)と、昨春秋以降、少ない報告数です。数は少ないのですが、全県下から報告があります。
8. 突発性発しん: 報告数148件(前月比1.2、前年比0.8)と、例年並みの動きです。阿蘇・御船の二地区を除き県下から報告があります。
9. 百日咳: 報告はありませんでした。
10. ヘルパンギーナ: 報告数9件(前月比1.1、前年比0.3)と低い水準です。天草から4件の報告がありますが、他の地区は0~2件です。

11. 流行性耳下腺炎： 報告数27件(前月比1.0、前年比0.1)と昨年秋以降の漸減状態が続いています。少数ですが県内各地から報告があり、年齢も一歳以上ですので、大きな流行していませんが、予防接種があることの周知は必要でしょう。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数57件(前月比1.0、前年同月0.9)と目立った増減はありません。地域別では熊本51件、有明5件、天草1件の報告です。年齢別では20～39歳台に28件と多発していますが、50歳代にも8件と他の年齢層よりも多めに発症しています。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症： 報告数 44件(前月比 1.3、前年比 1.0)で、前月比は増加し、前年比は同数です。男女別は、男性17件、女性27件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は15～24歳に多く見られ、女性は15～34歳に多く見られます。地域別は、熊本が30件、次いで有明4件、八代、宇城各3件、菊池2件、御船、天草各1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数 21件(前月比 1.0、前年比 1.3)で、前月比は同数で4、前年比は増加しています。男女別は、男性9件、女性12件でした。年齢別は、男性は15～59歳、女性は15～69歳と幅広く見られます。地域別は、熊本が12件、次いで菊池4件、八代3件、宇城2件でした。
3. 尖圭コンジローマ： 報告数 6件(前月比 0.9、前年比0.8)で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性3件、女性3件です。年齢別は、男性は30～59歳、女性は1～24歳に見られます。地域別は、熊本が4件、菊池、宇城各1件でした。
4. 淋菌感染症： 報告数23件(前月比 1.4、前年比 2.9)で、前月比、前年比ともに増加しています。男女別は、男性が19件、女性4件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は15～64歳に幅広く見られ、女性は20～44歳でした。地域別は、熊本が18件、次いで有明3件、宇城2件でした。

基幹定点

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告ありませんでした。
2. 無菌性髄膜炎： 2件(前月比2.0、前年比2.0)の報告がありました。熊本2件で、年齢は1～4歳：1件、30～34歳：1件でした。

3. マイコプラズマ肺炎： 6件（前月比1. 0、前年比0. 5）の報告がありました。熊本3件、阿蘇1件、有明1件、天草1件でした。年齢は5～9歳：4件、10～14歳：1件、50～54歳：1件でした。

4. クラミジア肺炎： 報告ありませんでした。

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症： 15件（前月比1. 2、前年比0. 2）の報告がありました。熊本5件、山鹿6件、八代1件、人吉1件、有明2件でした。年齢は35～39歳：2件、40～44歳：1件、45～49歳：1件、55～59歳：1件、60～64歳：1件、65～69歳：1件、70歳以上：8件でした。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症： 3件（前月比1. 5、前年比0. 8）の報告がありました。熊本1件、人吉1件、有明1件で、年齢は65～69歳：1件、70歳以上：2件でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症： 報告ありませんでした。

4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症： 報告ありませんでした。

届け出対象感染症

1類感染症： 報告はありませんでした。
2類感染症： 結核：23件
3類感染症： 腸管出血性大腸菌感染症：1件
4類感染症： E型肝炎：1件
デング熱：1件
レジオネラ症：1件
5類感染症(全数把握)： 後天性免疫不全症候群：1件
梅毒：1件
風しん：19件